

院内つみ草料理の会だより

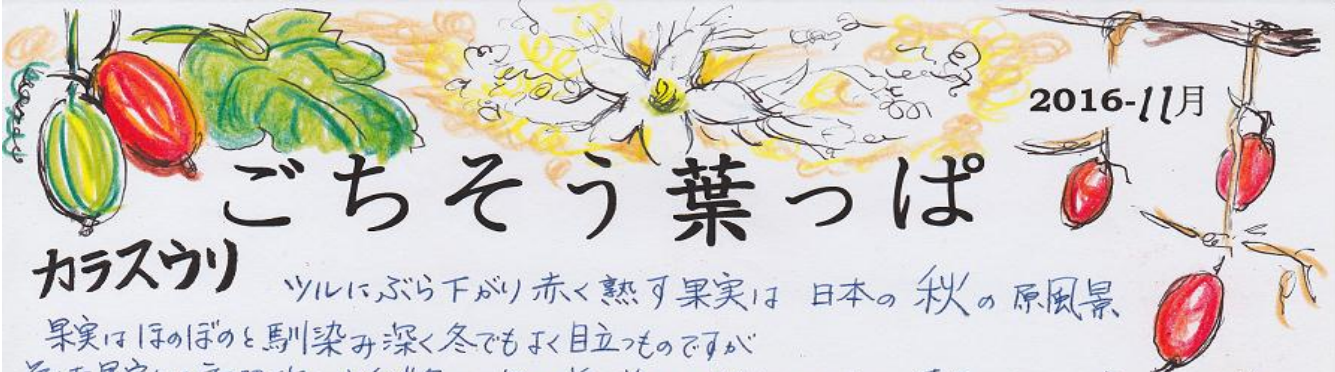
こんにちは！！院内つみ草料理の会です！！

11月に、「秋のまつり御膳」お食事会を開催します。

日時 平成28年11月20日(日) 午前11時

場所 宇佐市院内町大門「龍岩寺」前 (旧門前茶家)

参加人数に限りがありますので、ご参加を希望される方はお早めに下記の事務局までご連絡をお願いします！



2016-11月

ごちそう葉っぱ


カラスウリ

ツルにぶら下がり赤く熟す果実は日本の秋の原風景
果実はほのぼのと馴染み深く冬でもよく目立つのですが
そんな果実とは対照的に大豊色な姿で咲く花はご存知でしょうか。真夏に咲く一夜だけの花
そのためなかなか目にする機会は少ないのですが
真っ白いレースのように繊細で幽玄なその様子には
ドキッとさせられるものです。
そして特徴のある部分は花だけでなくあの赤い果実の中にも！
果実を割ると光沢のある黒々とした種子が出てきますが
こちらを洗い数日間置いておくと金色のように変化します。さらにその形は、結び文・やこまん
カマキリの頭・アリの顔・・・そしてよく例えられるのは、エビス様の顔や打ち出の小槌です。
その形から縁起が良いとも言われており
綺麗にした種子をお守り風にお財布に入れたりして持ち歩く方もいらしゃるそうです。
さあ！真っ赤なカラスウリを見つけた際にはぜひ割ってみましょう。

ツルニンジン

小判ではありませんがザックザクと打ち出の小槌が出てきますよ！！
[効能] 催乳・黄疸・利尿・果実の生汁(ひび・しもやけ)
花言葉 ~ 「よき便り」「誠実」「男ざらい」

その名の通りツル性で根が大きく薬用ニンジンに似ています。白っぽい淡緑色で釣鐘型の
花冠内側には、赤紫色の斑点があります。別名をジイソブ。「ソブ」とは・・・
ソバカスの方言で斑点をそのように見立て、「ジイ」とはお爺さんのことのようなのです。
少し小ぶりの似たような花で「バアソブ」もあるようです。
茎を折った時に出る白汁を切り傷、または腫れ物に塗布すると交果があると言われますが
韓国では食用栽培も盛んで屋台に売っているほど人気もあります。
新芽若葉は塩茹で水にさらし知えもの、炒めもの
根は洗って揚げもの、キムチ、乾燥させ薬用酒など。
明るめの山野で見られる多年草ですが、ここ最近、野生種は大変希少になってきた。
皆様とともに観察をしつつも湿かく見守ってゆきたいと思っております。
stylist_ Sayako Abe / supervisor_ Tadanori Yano 花言葉 ~ 「感謝」「誠実」



発行：院内つみ草料理の会
(事務局) 院内支所市民サービス課

TEL : 0978-42-5111
(内線 : 137 担当 : 吉田・網中)
FAX : 0978-42-5115